

## 第2回 JSSR 広報委員会議事録

2019年6月9日(日) 11:00-13:00

TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ミーティングルーム 318

### 1.改定ホームページについての最終確認

#### ホームページ

山下先生ご提言の文言に変更する

文字を大きくする

#### 英文ホームページ

基本的には国際委員会におまかせする形とする

広報委員会ではタイトルページのみ監修(英文校正の要否については国際委員会に要確認)

国際委員会より今後全体的な改定要請があるかもしれない(随時対応)

#### 首や腰の痛み、手足のしびれでお困りの方へ

##### ・全体的な部分

各疾患へのリンクがおかしいところがあるので修正する(業者へ依頼)

脊椎脊髄専門医、指導医などの記載を統一する(JOA との兼ね合いを確認のこと)

しびれ、しびれ感、シビレ、シビレ感などの記載を統一する(ひらがなで)

頸椎と頸椎は頸椎で統一する

レントゲンやX線などを統一する

画像に個人名が入っているものがあるので削除する

シェーマが英語の部分があるので日本語に変更する

##### ・主な症状

(腰痛 8行目)

一般的な腰痛の経過はわりと良好 腰痛の経過は一般的に良好

(手足の運動障害・麻痺 9行目)

黄靭帯骨化症 黄色靭帯骨化症

(歩行障害 6行目)

跛行 跛行(はこう)

##### ・主な疾患

最初のリストと本文の順番が違うので修正する(業者へ依頼)

(腰椎椎間板ヘルニア 16 行目)

リンクの位置と「かかわらず」の漢字表記を修正

通常は手術をせずに保存的治療（薬物、注射、理学療法など）で軽快しますが、保存的治療にも関わらず

通常は手術をせずに保存的治療（薬物、注射、理学療法など）で軽快しますが、保存的治療にも拘わらず

脊柱分離症・すべり症 脊柱分離症・分離すべり症

(8 行目)

CT や MRI などの検査が必要です CT や MRI などの検査が有用です

(腰部脊柱関狭窄症 9 行目)

間欠跛行 間欠跛行(かんけつはこう)

(腰部脊柱関狭窄症 14 行目)

Walker 押し車

(骨粗鬆症・脊椎圧迫骨折 図 2)

骨粗鬆 骨粗鬆椎体

(脊椎腫瘍 図)

MRI のコントラストを変更する(困難なら cut)

(脊髄腫瘍 図)

図に色を付けて腫瘍をわかりやすくする(赤にするなど)

出典を入れる

上衣腫、星細胞腫、血管芽細胞腫など素人にはわからないのでふりがなを入れる

(脊椎脊髄損傷)

文章が長いので適宜改行をいれる

画像を入れる

(17 行目)

基礎研究 基礎や臨床

(19 行目)

将来的な これらの治療法が将来の～

(化膿性・結核性脊椎炎 図)

レントゲンと MRI を同症例にする

(透析脊椎症 図)

レントゲン側面像のハレーションを修正する(業者に確認)

修正困難なら CT のみにする

(脊柱側弯症 2 行目)

症候性を cut

(脊柱側弯症 図)

モアレか写真(イラストに変更)を入れる

側弯症学会のしおりから引用か確認する

(脊柱後弯症)

イラストがあった方がよい

(癒着性クモ膜炎)

簡易な文章に変更する

・ 治療法

(保存療法)

もう少し写真を入れる(レントゲンやイラスト)

筋弛緩薬はエビデンスないので記載を cut する

治療薬に関しては NSAIDS などの鎮痛剤を用いるなどの記載にする

治療法の順番を調整する

保存療法の記載が少ないのでボリュームを増やす

頸肩腕症候群は cut する

(手術療法)

各手術の項目に写真を入れる

椎弓形成術はこの記載だと片開きがマイナーな印象を受けるので要検討とする

入院期間は施設間差異もあるのでもう少しばかして記載する

椎間板切除術に PED の説明も入れる

椎間固定術で Instrumentation の文言を cut する

脊髄モニタリングで術中写真(一番右)を cut する

脊椎ナビゲーション手術でナビゲーション写真の著作権についてメドトロに確認する

#### お近くの指導医を探す

- ・物故会員を消す(事務局に確認する)

(こちらは事務局と web 会社で連携し適宜修正していただく方針とする)

- ・日本地図を載せる
- ・初言

様々な脊椎脊髄疾患に対する治療経験豊富な当学会認定の脊椎脊髄外科指導医の氏名を公開いたしました。

脊椎脊髄疾患に対する治療経験豊富な当学会認定脊椎脊髄外科指導医の氏名を公開しております。

様々な症状でお困りの皆様や脊椎脊髄に関する疑問、不安などを感じている多くの方々にご利用頂き、お役に立てていただければ幸いです。

脊椎脊髄疾患による様々な症状でお困りの皆様が、医療機関を受診される際のご参考になれば幸いです。

#### 学会概要

- ・会員数や学会開催案内を最新のものにする

(こちらは事務局と web 会社で連携し適宜修正していただく方針とする)

#### 参考図書

改訂版が出ているものを修正する

- ・改訂版

腰痛診療ガイドライン 2012 南江堂、2012

腰痛診療ガイドライン 2019 (改訂第 2 版) 南江堂、2019

頸椎症性脊髄症診療ガイドライン 南江堂、2005

頸椎症性脊髄症診療ガイドライン 2015 南江堂、2015

標準整形外科学(第 12 版) 松野丈夫、中村利孝総編集 医学書院、2014

標準整形外科学(第 13 版) 中村利孝総編集 医学書院、2016

今日の治療指針(2015年版) 山口徹、北原光夫監修 医学書院、2015

今日の治療指針(2019年版) 福井次矢、高木誠、小室一成 医学書院、2019

今日の整形外科治療指針 国分正一、岩谷力、落合直之、佛淵孝夫編集 医学書院、2010

今日の整形外科治療指針 第7版 土屋弘行編集 医学書院、2016

・追加

側弯症治療の最前線・手術編、日本側弯症学会編、医薬ジャーナル社、2014

成人脊柱変形治療の最前線、日本側弯症学会編、医薬ジャーナル社、2017

入会案内および各種届出方法

- ・タイトル(左上部)を以下に変更する

入会案内 入会案内および各種届出方法

- ・初言の注釈を以下のように変更する

入会金はございません。郵便振替・ゆうちょ銀行へのお振込み手数料はご負担ください。

入会金はございません。会費の納入に関して、郵便振替・ゆうちょ銀行へのお振込み手数料はご負担ください。

バナー広告

前回分を引き継ぐが、今後については理事会でご検討いただく

関連学会情報

日本腰痛学会等の関連学会も入れる

APOA や APSS も

関連雑誌の追加についても要検討する

ex)

SSRR

JOS

Spine J

Eur Spine j

JNS Spine

学会および雑誌については記載順も十分考慮する(学会規模やアルファベット順など)

## 2.その他

医療安全情報が追加される予定である

Q&A は作成中である

## 3.今後の予定

7月の理事会で承認されれば公開となる予定である

次回の広報委員会は2020年度JSSRで開催予定(改善点のチェックなど)